

令和元年度

北空知地域医療介護確保推進協議会

第 1 回会議 議案

医療や介護が必要になっても
住みなれた自宅や地域で
自分らしく暮らしたい。
～その想いをかなえるために支援を行います～



令和元年 6 月 2 4 日

深川市立病院 2 階会議室

目 次

1. 北空知地域医療介護確保推進協議会	1
2. 北空知地域医療介護確保推進協議会 運営会議	3
3. I 医療・介護情報共有支援部会	7
4. II 退院調整・在宅生活支援部会	12
5. III 多職種連携・地域啓発部会	21
6. 平成30年度北空知地域医療介護連携支援センター事業 （地域医療・介護連携推進事業）決算 平成30年度地域リハビリテーション活動支援事業 決算	31
7. 令和元年度北空知地域医療介護連携支援センター事業 （地域医療・介護連携推進事業）予算（案） 令和元年度地域リハビリテーション活動支援事業 予算（案）	32

※改元に伴い、議案中の「平成31年」「平成31年度」の表記は、「令和元年」「令和元年度」へ適宜読み替えをお願いします。

令和元年度 北空知地域医療介護確保推進協議会 第1回会議議案

北空知地域医療介護確保推進協議会

○設置目的

北空知1市4町（深川市、妹背牛町、秩父別町、北竜町及び沼田町）間で、平成28年3月18日に締結した「北空知における地域医療・介護の提供体制の確保と連携に関する協定書」に基づく広域事業の実施について協議するために、関係市町、深川保健所、深川医師会、深川市立病院、深川地区消防組合、介護サービス事業者等の関係機関・団体で構成する「北空知地域医療介護確保推進協議会」を設置する。

○協議事項

広域的に実施する次に掲げる地域医療・介護に係る連携推進事業について協議する。

- (1) 救急医療及び地域医療の確保と連携推進に関する事業
- (2) 在宅医療・介護の連携推進に関する事業
- (3) 認知症施策の連携推進に関する事業
- (4) 介護及び生活支援サービスの確保と連携推進に関する事業
- (5) その他地域医療及び介護サービスの確保と連携推進に関する事業

≪平成30年度事業報告≫

1. 開催計画

- ・協議会の定期開催は6月を予定し、その他必要に応じて開催することとします。

2. 開催状況

○第1回会議 平成30年6月15日（金）18:00～19:20 市立病院
出席者34名（協議会委員、運営会議委員、運営会議事務局員、専門部会長ほか）

・協議・確認事項

- (1) 平成29年度事業報告及び決算報告について
- (2) 平成30年度事業計画（案）及び予算（案）について
- (3) 休日・夜間救急医療体制確保事業の報告について
- (4) 深川市立病院新改革プランの実施状況に関する点検・評価について
- (5) その他について

※協議・確認事項は事務局提案どおり承認・了承され、議事終了後、情報・意見交換を行った。

3. 協議会構成員（平成30年4月～平成31年3月）

役職	所属団体・役職	氏名	備考
会長	深川市長	山下 貴史	
副会長	深川医師会会長	成田 昭彦	成田医院院長
		↓	↓ 7月に交代
		林 憲雄	深川第一病院院長

委 員	妹背牛町長	田 中 一 典	
	秩父別町長	神 薮 武 ↓	3月に交代
	北竜町長	澁 谷 信 人	
	沼田町長	佐 野 豊	
	深川保健所長	金 平 嘉 則	
	深川市立病院長	谷 田 光 弘	
	深川地区消防組合消防長	藤 澤 真	
	社会福祉法人揺籃会理事長	須 見 淳 一	
	社会福祉法人北海道中央病院理事長	永 倉 隆 太 郎	※1
	北空知介護支援専門員連絡協議会会長	大 西 道 祥	※1
	林 憲 雄	※1 深川第一病院院長	

※1の団体の代表の委員は2年任期（平成30年度～平成31年度）

《令和元年度事業計画》

1. 令和元年度事業計画

- ・協議会の定期開催は6月とし、その他必要に応じて開催することとします。

2. 協議会構成員（平成31年4月～令和2年3月）

役 職	所属団体・役職	氏 名	備 考
会 長	深川市長	山 下 貴 史	
副会長	深川医師会会長	林 憲 雄	深川第一病院院長
委 員	妹背牛町長	田 中 一 典	
	秩父別町長	澁 谷 信 人	
	北竜町長	佐 野 豊	
	沼田町長	金 平 嘉 則 ↓ 横 山 茂	5月に交代
	深川保健所長	谷 田 光 弘	
	深川市立病院長	藤 澤 真	
	深川地区消防組合消防長	須 見 淳 一 ↓ 野 弘 道	
	社会福祉法人揺籃会理事長	永 倉 隆 太 郎	※1
	社会福祉法人北海道中央病院理事長	大 西 道 祥	※1
	北空知介護支援専門員連絡協議会会長	林 憲 雄 ↓ 中 神 宏 司	※1 深川第一病院院長 5月に交代 ↓ 中神歯科医院院長

※1の団体の代表の委員は2年任期（平成30年度～令和元年度）

北空知地域医療介護確保推進協議会 運営会議

○設置目的

協議会を円滑に運営するため、協議会の委員が所属する機関・団体の担当で構成する運営会議を設置する。

○協議内容

- (1) 協議会の検討課題と事業の調整
- (2) 救急医療体制の維持・確保
- (3) 在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討
- (4) 在宅医療・介護連携推進事業の企画立案と進行管理
- (5) 地域リハビリテーション活動支援事業の企画立案と進行管理
- (6) 認知症対策事業の検討
- (7) その他地域医療・介護連携推進事業の企画立案と進行管理
- (8) 各市町地域包括支援センターとの連携調整
- (9) 協議会関係団体・組織との連絡調整
- (10) 専門部会の連絡調整

《平成30年度事業報告》

1. 開催計画

- ・運営会議は四半期に1回程度の頻度で開催します。
- また、必要に応じて「正副座長・部会長等会議」を開催し事業の進捗等を調整します。

2. 関係会議等開催状況

○運営会議座長・事務局長等引継会議

- ・平成30年4月10日（火）13:30～15:10 市立病院
- ・出席者4名 座長・事務局長とも交代したため各種会議・事業等の引き継ぎを行った。

○第1回正副座長・部会長等会議

- ・平成30年4月25日（水）18:00～20:00 市立病院
- ・出席者14名（運営会議副座長、運営会議事務局員、専門部会正副部長）
- ・人事異動等で正副座長・部会長等が少なからず交代したため、今年度の事業を始動させるにあたって、平成29年度事業報告・平成30年度事業計画（案）等についての内容等を確認し合い、事業の取り進め方（重点事業、到達目標など）を協議した。

○第1回運営会議 平成30年5月14日（月）15:00～16:15 市立病院

出席者23名（運営会議委員、運営会議事務局員、専門部会長）

- ・協議・確認事項
 - (1) 北空知地域医療介護確保推進協議会の議案について
 - ・平成29年度事業報告・平成30年度事業計画（案）、説明資料
 - (2) 休日・夜間救急医療体制確保事業の報告について
 - (3) 北空知地域医療介護確保推進協議会の開催について
- ※座長・副座長及び委員等を確認し、協議・確認事項を協議し、協議会の議案はさらに精査、修正し提出することになった。

○第2回運営会議 平成31年3月27日(水) 16:00～17:00 深川市健康福祉センター
出席者18名(運営会議委員、運営会議事務局員、専門部会長)

・協議・確認事項

- (1) 平成30年度の事業報告、振り返り・評価について
- (2) 平成31年度の事業計画及び年間スケジュールについて
- (3) 平成31年度の各会議体の体制について
- (4) 平成30年度事業決算及び平成31年度事業予算について

※協議・確認事項を協議し、平成31年度に向けて、各会議体の体制、事業計画、事業予算等を承認し、各種事業に取り組むこととなった。また、当面の会議スケジュール等を決定した。

※ 運営会議は、四半期に1回程度の頻度での開催を計画していたが、上記のとおり年度始めと終わりの2回の開催となった。ただし、事業の進捗状況等については、事務局から随時メール等で報告を行った。

また、10月11日に、協定書に基づき、地域医療・介護担当課長等会議を開催し、「地域医療・介護連携推進事業」と「地域リハビリテーション活動支援事業」の委託料について、これまでの実績と平成31年度に予定されている消費税増税を踏まえ委託料の見直しを協議した。

3. 運営会議構成員(平成30年4月～平成31年3月)

役 職	所属団体・役職	氏 名	備 考
座 長	深川市高齢者支援課長	小 倉 浩 道	
副座長	深川保健所次長	勇 崎 比呂志	
委 員	深川医師会事務長	高 田 智 之	
	深川市立病院事務部長	吉 田 博 昭	
	社会福祉法人揺籃会理事	遊 佐 英 樹	※1 清祥園
	社会福祉法人北海道中央病院理事	蓑 口 亮	※1 アニスティ深川
	北空知介護支援専門員連絡協議会事務局長	佐々木 大 樹	※1 老健りぶれ
	深川地区消防組合深川消防署指令救急課長	小 林 正 樹	
	妹背牛町住民課長	清 水 野 勇	
	妹背牛町健康福祉課長	河 野 和 浩	
	秩父別町住民課長	早 川 聡	
	北竜町住民課長	有 馬 一 志	
	北竜町地域包括支援センター長	南 祐美子	
	沼田町保健福祉課長	黒 田 美 和	
深川市健康福祉課長	米 澤 弘 美		

※1の団体の代表の委員は2年任期(平成30年度～平成31年度)

《事務局体制》

	所属団体・役職等	氏 名	備 考
北空知地域 医療介護連携 支援センター	深川市立病院地域連携室室長	村 澤 眞由美	副センター長
	深川市立病院地域連携室地域連携係調査員	三ッ井 隆 博	事務局長
	深川市立病院地域連携室地域連携係長	藤 原 智 美	事務局員
	深川市立病院地域連携室地域連携係主査	尾 中 康 晴	事務局員
市町行政部局	沼田町保健福祉課主幹	按 田 義 輝	※1
	深川市高齢者支援課課長補佐	北 垣 千 絵	
	深川市健康福祉課主幹	本 多 孝 二	

※1の事務局員は4町で2年交代(平成30年度～平成31)

《令和元年度事業計画》

1. 令和元年度事業計画

- ・協議会設立4年目となることから、運営会議において、PDCAサイクルの考え方にに基づき、これまで3年間の協議会事業全体の進捗状況を確認し、その成果と課題を整理し、今後の課題への対応策を検討する。
- ・特に、各専門部会の協議でも年々懸念が高まってきている、北空知管内の急速な人口減少と高齢化に伴う医療・介護サービスの担い手不足に対する対応策について重点的に協議することとする。

2. 運営会議構成員（平成31年4月～令和2年3月）

役 職	所属団体・役職	氏 名	備 考
座 長	深川市高齢者支援課長	小 倉 浩 道 ↓	
		伊 藤 美 恵 子	
副座長	深川保健所次長	勇 崎 比呂志	
委 員	深川医師会事務長	高 田 智 之	
	深川市立病院事務部長	吉 田 博 昭	
	社会福祉法人揺籃会理事	遊 佐 英 樹	※1 清祥園
	社会福祉法人北海道中央病院理事	藁 口 亮	※1 アニスティ深川
	北空知介護支援専門員連絡協議会事務局長	佐々木 大 樹 ↓	※1 老健りぶれ 5月交代
		高 橋 都	グットタイムケアプランセンター深川
	深川地区消防組合深川消防署副署長・指令救急課長	小 林 正 樹	
	妹背牛町住民課長	清 水 野 勇	
	妹背牛町健康福祉課長	河 野 和 浩	
	秩父別町住民課長	早 川 聡	
	北竜町住民課長	有 馬 一 志 ↓	
		東海林 孝 行	
	北竜町地域包括支援センター長	南 祐 美 子	
沼田町保健福祉課長	黒 田 美 和		
深川市健康福祉課長	米 澤 弘 美		

※1の団体の代表の委員は2年任期（平成30年度～令和元年度）

《事務局体制》

	所属団体・役職等	氏 名	備 考
北空知地域 医療介護連携 支援センター	深川市立病院地域連携室室長	村 澤 眞由美	副センター長
	深川市立病院地域連携室地域連携係調査員	三ッ井 隆 博	事務局長
	深川市立病院地域連携室地域連携係長	藤 原 智 美	事務局員
	深川市立病院地域連携室地域連携係主査	尾 中 康 晴	事務局員
市町行政部局	沼田町保健福祉課主幹	按 田 義 輝	多職種連携・地域啓発部会担当 ※1
	深川市高齢者支援課課長補佐	北 垣 千 絵	退院調整・在宅生活支援部会担当
	深川市健康福祉課主幹	本 多 孝 二	医療・介護情報共有支援部会担当

※1の事務局員は4町で2年交代（平成30年度～令和元年度）

3. 年間スケジュール

年月日	項目	内容
4月16日	正副座長・部会長等会議	役員交代に伴う引き継ぎ及び平成31年度事業計画の協議・調整（事業の実施時期調整）
5月17日	第1回運営会議	平成31年度協議会議案の協議 協議会事業の進捗状況の確認、成果と課題の協議
6月24日	第1回協議会	平成30年度事業報告・決算報告、 平成31年度事業計画（案）・予算（案）の協議ほか
7月 日	第2回運営会議	協議会事業の進捗状況の確認、成果と課題の協議 医療・介護サービスの担い手確保の協議
9月 日	第3回運営会議	医療・介護サービスの担い手確保の協議
2月又は3月	第4回運営会議	平成31年度事業の振り返り・評価、次年度の事業計画等の協議

※必要に応じて「正副座長・部会長等会議」を開催し事業の進捗等を調整する。

I 医療・介護情報共有支援部会

○医療・介護情報共有支援部会の担当

(1) 地域の医療・介護の資源の把握

- ①「北空知介護保険サービス事業所ガイドブック」の内容を基本に、医療情報（病院・歯科・調剤）を加えたガイドブックの作成
- ②ガイドブックの内容を、北空知地域医療介護連携支援センターホームページ等で公開
- ③ガイドブックの関係機関への配布と住民等への周知

(2) 医療・介護関係者の情報共有の支援

- ①医療・介護連携情報共有シートの作成
- ②情報共有ツールの導入検討～ICT（インフォメーション・アンド・コミュニケーション・テクノロジー）等の活用等

≪平成30年度事業報告≫

1. 事業計画

(1) 地域の医療・介護の資源の把握

- ①地域の医療・介護資源のガイドブック及びマップの更新・充実
- ②把握した情報による医療・介護関係者向けガイドブックの作成と配布
- ③住民向けのマップまたはガイドブック等作成の検討
- ④広報紙や各市町ホームページへの掲載の検討

(2) 医療・介護関係者の情報共有の支援

- ①情報共有の方法（ICT・連絡帳・連絡シート・クリティカルパス・ファックス・電子メール等）や内容の検討
- ②情報共有の方法等を決定した場合、地域の医療・介護関係者を対象とした説明会を開催
- ③救急あんしんカードの普及啓発

2. 関係会議等開催状況

○第1回部会 平成30年6月29日（金）18:00～20:00 市立病院
出席者13名（部会委員、事務局員）

・協議・確認事項

- (1) 部会の担当及び構成員について
- (2) 平成29年度までの進捗状況の確認について
- (3) 平成30年度の事業計画及び年間スケジュールについて
- (4) 情報交換について

○I部会&II部会合同事業調整会議

平成30年7月10日（火）18:00～19:30 市立病院
出席者11名（I部会・II部会の代表委員、事務局員）

・協議・確認事項

- (1) 北空知入退院支援・調整ルール試行事業について
 - (2) 在宅医療・在宅介護に関する住民アンケート調査事業について
- ※座長に河野II部会長を選出し、調整会議設置目的等を確認し、協議・確認事項を協議した。

○ICT活用情報共有ツール導入調査研究会

平成31年2月18日（月）18:00～19:40 市立病院

出席者 21 名（業者、部会委員・事務局員ほか各会議体委員等）

・協議・確認事項

(1) ICTを活用した情報共有ツールのデモ説明による調査研究について

※株式会社ワイズマンの「Mell+community」システムを対象に、商品の説明のほか、実際に端末を操作し、機能・使い勝手、他地域の導入事例、セキュリティ、導入・維持経費、導入スケジュールなどについて調査研究を行った。

○第2回部会 平成31年3月4日（月）18：00～19：10 市立病院

出席者 12 名（部会委員、事務局員）

・協議・確認事項

(1) ICT活用情報共有ツール導入調査研究に係るデモ説明会の結果について

(2) 社会資源・インフォーマルサービス情報調査の実施について

(3) 平成30年度事業の振り返り・評価について

(4) 平成31年度の事業計画及び年間スケジュールについて

※協議・確認事項を協議し、次年度はICT活用情報共有ツール導入調査研究に一定の結果を出せるよう調査研究を進めるとともに、医療・介護等の情報共有と提供方法の検討などの事業に取り組むこととなった。

3. 事業の進捗状況

(1) 地域の医療・介護の資源の把握

①地域の医療・介護資源のガイドブック及びマップの更新・充実

⇒ 昨年度までに調査した介護サービス事業所のガイドを6月に、マップを7月にホームページに掲載した。

⇒ 病院・診療所、歯科医院、薬局のガイド作成は遅れていたが、3月にホームページに掲載した。

⇒ サロンなどの通いの場や見守り、生活支援サービスなどの社会資源・インフォーマルサービスの調査に取り組んだ。調査結果をまとめ、ホームページに次年度掲載する。

②把握した情報による医療・介護関係者向けガイドブックの作成と配布

⇒ 冊子等の紙媒体での配付は経費的に困難なため、ホームページに掲載したガイドをダウンロードして利用してもらうよう周知する。また、ダウンロードしやすいPDFファイルでの掲載に工夫を図る。

③住民向けのマップまたはガイドブック等作成の検討

⇒ 詳しい冊子ものの作成は経費的に難しく更新も容易でないため、A4両面又はA3版2つ折り4ページもので事業所リストを作成できないか、あるいは、原版を作成し、各市町、事業所で印刷して利用する方向を検討する。

⇒ 住民向けの案内として、サービスを担う専門職の仕事やサービスの利用方法などを、協議会各会議体の委員等が寄稿する方法でホームページに掲載できないか検討する。また、掲載、発信が容易な「Facebook」などのSNSの活用を検討する。

④広報紙や各市町ホームページへの掲載の検討

⇒ 全戸配付が必要な場合は、協議会で費用を負担し市立病院の広報紙を活用することを検討する。

⇒ 各市町のホームページからセンターのホームページにリンクできるよう、各市町に要請した。

また、関係機関・団体にもセンターホームページとのリンクを依頼し、関係機関・団体ホームページのホームからアクセスできるよう取り組む。

⇒ 専門部会としては、ホームページを中心とした情報提供を行うこととし、その充実に努める。

紙媒体の広報については、費用や更新などの手間の問題から、1枚もののチラシや他の広報誌を活用しての広報を除き、冊子などの紙媒体での広報は当面行わない。ただし、事業所の窓口で活用できるようダウンロードできる原版をホームページに掲載できないか検討する。

⇒ 医療・介護資源等のガイドの掲載のほか、研修会等の案内や各種事業の報告の掲載など、ホームページの更新を23回行った。

(2) 医療・介護関係者の情報共有の支援

①情報共有の方法（ICT・連絡帳・連絡シート・クリティカルパス・ファックス・電子メール等）や内容の検討

- ⇒ 昨年度、Ⅱ部会で検討した「北空知地域入退院支援・調整ルール（試案）」を「Ⅰ部会&Ⅱ部会合同事業調整会議」を設け完成させ、関係市町から各居宅介護支援事業所に通知し、8月から試行事業として実施している。また、事業実施要領、様式をホームページに掲載した。今後、Ⅰ部会で事業の普及促進とルールの見直しを行う。
- ⇒ 情報共有ツールのICTの導入検討は、高額な経費がかかる電子カルテとの連携は保留にし、比較的経費のかからない、多職種の連絡帳機能があり、バイタルデータや紙資料の撮影写真などの情報管理ができるシステムを提供している会社のシステムを調査研究することとし、2月18日にデモ説明会を開催した。
- ⇒ 紙ベースの連携シートとして、十勝の取り組みを参考に、北空知として薬手帳の普及啓発と連携シートとしての活用を協議、検討していくことになった。
なお、薬剤師会では、65歳以上の方を対象に介護支援専門員等の名刺を入れることができる薬手帳のカバーを配付する事業を行っているので、連携して周知と活用を促進する。

②情報共有の方法等を決定した場合、地域の医療・介護関係者を対象とした説明会を開催

- ⇒ 北空知地域入退院支援・調整ルール試行事業の実施にあたっては、Ⅱ部会が担当する「第1回北空知地域入退院支援研修会」を9月30日に開催し、事業の説明を行い利用普及を呼びかけた。

③救急あんしんカードの普及啓発

- ⇒ 現行のカードの普及方策として、関係機関・団体を通じて、病院・診療所での発行・記載の促進、ケアマネからの要支援要介護者への利用徹底（北空知地域入退院支援・調整ルール試行事業で様式を提示）、施設入所者（特に市立病院未利用者）の利用徹底などを図っていく。
- ⇒ 利用者の記入の負担や記入の更新が必要なこと、市町への連絡、用紙等の受領など「面倒なこと」がネックになっている面があり、違う方法がないか、更新も含め簡便な方法を検討する。

4. 部会構成員（平成30年4月～平成31年3月） 13名

役職	所属団体・役職	氏名	備考
部会長	秩父別町住民課主幹・地域包括支援センター長	斉藤直美	2年交代（H30～H31）
副部会長	深川医師会副会長	松本三樹	吉本病院理事長
委員	北空知歯科医会会長	伊東由紀夫	伊東歯科医院院長
	北海道薬剤師会北空知支部深川部会	岡安良子	北海道中央病院薬局長
	北空知介護支援専門員連絡協議会	橋本和樹	深川市社会福祉協議会
	北空知区域内介護事業所	畠山美幸	沼田町社会福祉協議会
	深川保健所企画総務課企画主幹	齋藤顕敏	
	妹背牛町健康福祉課主査	南美也子	
	北竜町地域包括支援センター介護予防係長	大井敬太	
	沼田町保健福祉課福祉グループ主査	渡辺正人	
事務局員	深川市立病院地域連携室地域連携係主査	梶修司	
	深川市立病院地域連携室地域連携係調査員	三ッ井隆博	

※部会長は4町で2年交代（平成30年度～平成31年度）

《令和元年度事業計画》

・協議会3年間の進捗状況を踏まえ、下記のとおり部会担当事務事業を見直し事業計画を策定します。

○医療・介護情報共有支援部会の担当（見直し）

（１）地域の医療・介護の資源の把握

- ①地域の医療・介護・地域資源の情報収集と整理
- ②地域の医療・介護・地域資源の情報ガイドの作成とホームページ等での公開
- ③医療・介護関係者との情報の共有と活用、地域住民に対する情報提供

（２）医療・介護関係者の情報共有の支援

- ①医療・介護連携情報共有シートの作成と普及促進
- ②情報共有ツールの導入検討
～ICT（インフォメーション・アンド・コミュニケーション・テクノロジー）等の活用等

1. 令和元年度事業計画

（１）地域の医療・介護の資源の把握

- ①地域の医療・介護・地域資源の情報ガイドのホームページでの更新・充実
- ②把握した資源情報を医療・介護関係者や地域住民に提供する方法の検討
- ③関係市町や関係団体等の広報誌・ホームページ等と連携した情報提供の検討

（２）医療・介護関係者の情報共有の支援

- ①ICT活用情報共有ツール導入の調査研究
- ②その他の情報共有の方法や内容の検討（連絡帳・連絡シート・クリティカルパス・ファックス・電子メール等）
- ③北空知地域入退院支援・調整ルール試行事業の普及促進と定着
- ④救急あんしんカードの普及啓発

2. 部会構成員（平成31年4月～令和2年3月）14名

役 職	所属団体・役職	氏 名	備 考
部 会 長	秩父別町住民課主幹・地域包括支援センター長	齊 藤 直 美	2年交代（H30～R元）
副部会長	深川医師会副会長	松 本 三 樹	吉本病院理事長
委 員	北空知歯科医会会長	伊 東 由紀夫	伊東歯科医院院長
	北海道薬剤師会北空知支部深川部会	岡 安 良 子	
	北空知介護支援専門員連絡協議会	橋 本 和 樹	深川市社会福祉協議会
	北空知区域内介護事業所	畠 山 美 幸	沼田町社会福祉協議会
	深川保健所企画総務課企画主幹	齋 藤 顕 敏 ↓ 大 場 久 男	
	妹背牛町健康福祉課主査	南 美也子	
	北竜町地域包括支援センター介護予防係長	大 井 敬 太	
	沼田町保健福祉課福祉グループ主査	渡 辺 正 人	
	深川市高齢者支援課地域包括支援係主査	梶 修 司 ↓ 中 澤 美 佳	

事務局員	深川市立病院地域連携室地域連携係主査	尾 中 康 晴	
	深川市立病院地域連携室地域連携係調査員	三ッ井 隆 博	
	深川市健康福祉課主幹	本 多 孝 二	市町代表事務局員 増

※部会長は4町で2年交代（平成30年度～令和元年度）

3. 年間スケジュール

年月日	項 目	内 容
4月16日	正副座長・部会長等会議	役員交代に伴う引き継ぎ及び平成31年度事業計画の協議・調整（事業の実施時期調整）
5月17日	第1回運営会議	部会長→部会の議案説明
6月24日	第1回協議会議	部会長→部会の議案説明

（医療・情報共有支援部会）

年月日	項 目	内 容
6月17日	第1回部会	H31年度事業計画及び検討課題の協議
月 日	第1回ICT活用情報共有ツール導入調査研究会	ICT活用情報共有ツール導入調査研究に係るデモ説明会等
月 日	第2回ICT活用情報共有ツール導入調査研究会	ICT活用情報共有ツール導入調査研究に係るデモ説明会等
10月 日	第2回部会	ICT情報共有ツール導入調査研究結果のまとめ
2月 日	第3回部会	H31年度事業のまとめと次年度の取組の協議

Ⅱ 退院調整・在宅生活支援部会

○退院調整・在宅生活支援部会の担当

(1) 切れ目のない在宅医療と介護の提供体制の構築推進

①切れ目のない在宅医療と在宅介護を提供するための体制づくりの検討

○急変時診療体制の検討 ○夜間・休日診療体制の検討

○在宅での支援体制の検討 ○認知症施策の検討（追加）

(2) 医療介護連携支援センターの運営と相談の受付、関係者の連携と調整

①「北空知地域医療介護連携支援センター」の設置と運営

②相談コーディネーター（看護師、医療ソーシャルワーカー、介護支援専門員など実務経験を有する人材）の配置

③各市町地域包括支援センターからの医療・介護連携に関する事項の相談の受付（地域住民からの相談は、従来どおり各市町の地域包括支援センターが行うが、直接センターへの相談も受け付けることとする。）

④退院の際の医療及び介護関係者との連携調整と相互の紹介、他圏域病院との連携調整

⑤訪問看護等在宅サービスとの連携・調整

⑥認知症初期集中支援事業の連携・調整（表現見直し）

《平成30年度事業報告》

1. 事業計画

(1) 切れ目のない在宅医療と介護の提供体制の構築推進

①地域の医療と介護の提供状況について、情報の整理

②切れ目のない在宅医療と在宅介護が提供される体制の構築のために必要な取組みの実施

(2) 医療介護連携支援センターの運営と相談の受付、関係者の連携と調整

①北空知地域医療介護連携支援センターの運営

②相談業務の充実

③北空知地域医療介護連携支援センター業務の周知

④相談窓口担当者の地域ケア会議への出席（関係者間の連携構築）

⑤訪問看護等在宅サービスとの連携・調整

⑥認知症初期集中支援事業の連携・調整

2. 関係会議等開催状況

○第1回部会 平成30年6月28日（木）18:00～20:00 市立病院

出席者16名（部会委員、事務局員）

・協議・確認事項

(1) 部会の担当及び構成員について

(2) 平成29年度までの進捗状況の確認について

(3) 平成30年度の実業計画及び年間スケジュールについて

(4) 情報交換について

※協議・確認事項を協議し、今年度は「認知症・アンケート小部会」と「入退院支援研修企画小部会」を設置し事業に取り組むことになった。

○第2回部会 平成31年2月21日（木）18:00～19:00 市立病院

出席者16名（部会委員、事務局員）

・協議・確認事項

- (1) 平成30年度事業の振り返り・評価について
- (2) 平成31年度の事業計画及び年間スケジュールについて

※協議・確認事項を協議し、次年度も「入退院支援研修企画小部会」「在宅生活支援検討小部会」の2つの小部会を設け、入退院支援研修会の開催や認知症施策の検討などの事業と課題に取り組むことになった。

○ I 部会 & II 部会合同事業調整会議

平成30年7月10日(火) 18:00~19:30 市立病院

出席者11名 (I部会・II部会の代表委員、事務局員)

・協議・確認事項

- (1) 北空知入退院支援・調整ルール試行事業について
- (2) 在宅医療・在宅介護に関する住民アンケート調査事業について

※座長に河野II部会長を選出し、調整会議設置目的等を確認し、協議・確認事項を協議した。

○第1回認知症・アンケート小部会

平成30年7月24日(火) 18:00~19:00 市立病院

出席者8名 (小部会メンバー)

・協議・確認事項

- (1) 在宅医療・介護に関するアンケート調査の実施について
- (2) 認知症初期集中支援事業について

※協議・確認事項を協議し、アンケート調査は9月~11月に各市町で実施すること、認知症初期集中支援事業は事例共有検討会を9月と2月に実施することになった。

○第2回認知症・アンケート小部会

平成31年2月12日(火) 16:00~17:40 市立病院

出席者7名 (小部会メンバー)

・協議・確認事項

- (1) 在宅医療・介護に関するアンケート調査の集計結果分析について
- (2) 認知症初期集中支援事業事例共有検討会の振り返り・評価について

※協議・確認事項を協議し、次年度は、アンケート調査から見てきた課題の検討や、認知症初期集中支援事業のほか地域包括支援センターの支援事例を共有検討するなどし、認知症施策について引き続き検討していくことになった。

○第1回認知症初期集中支援事業事例共有検討会

平成30年9月21日(金) 17:15~19:00 北竜町すこやかセンター

出席者23名 (市町地域包括支援センター、市立病院、北竜町立診療所、事例担当事業所ほか)

- ・北竜町の事例 (家族の同意が得られずサービス導入が進まなかったケース) について、担当した認知症初期集中支援チーム員、ケアマネージャー、ホームヘルパー等が報告し、参加者で様々な視点から支援を振り返り意見交換した。

○第2回認知症初期集中支援事業事例共有検討会

平成31年2月8日(金) 18:00~19:40 深川市健康福祉センター

参加者26名 (市町地域包括支援センター、市立病院、事例担当事業所ほか)

- ・深川市の事例 (妻に対し暴力的行為があるアルツハイマー型認知症の方の家族支援) について、担当した認知症初期集中支援チーム員、ケアマネージャー、地域リハビリテーション活動支援事業、訪問看護ステーションの担当者等が報告し、参加者で様々な視点から事例を共有し意見交換した。

○第1回入退院支援研修企画小部会 平成30年7月30日(月) 18:00~19:15 市立病院

出席者10名 (小部会メンバー)

・協議・確認事項

<p>(1) これまでの関係会議での協議結果（関係分）について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1回部会、I部会&II部会合同事業調整会議（「北空知入退院支援・調整ルール」試行事業） <p>(2) 入退院支援研修会の企画について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成29年度の振り返り、入退院支援の現状、今年度の方向性 <p>※協議・確認事項を協議し、入退院支援研修会を9月と11月の2回開催することになった。</p>
<p>○第2回入退院支援研修企画小部会 平成30年8月29日（水）18：00～20：00 市立病院 出席者10名（小部会メンバー）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・協議・確認事項 (1) 入退院支援研修会企画案について (2) 提供事例について (3) 役割分担・物品等準備、開催要項・開催案内について ほか
<p>○第3回入退院支援研修企画小部会 平成30年9月10日（月）18：00～19：30 市立病院 出席者6名（小部会メンバー）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・協議・確認事項 (1) 事例について (2) 当日のスケジュールについて (3) GWの運営について (4) 役割について ほか
<p>○第4回入退院支援研修企画小部会 平成30年9月26日（水）18：00～19：15 市立病院 市立病院 出席者8名（小部会メンバー）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・協議・確認事項 (1) 資料の確認について (2) 研修当日の準備について (3) 研修の流れと役割分担について ほか
<p>○第5回入退院支援研修企画小部会 平成30年10月11日（木）18：00～19：30 市立病院 市立病院 出席者10名（小部会メンバー）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・協議・確認事項 (1) 第1回の振り返り（評価）について (2) 第2回準備について ほか
<p>○第6回入退院支援研修企画小部会 平成30年11月7日（水）18：00～20：00 市立病院 市立病院 出席者7名（小部会メンバー、事例発表予定者）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・協議・確認事項 (1) 事例について (2) 当日のスケジュールについて (3) GWの運営について (4) 役割について ほか
<p>○第7回入退院支援研修企画小部会 平成30年11月26日（月）18：00～19：30 市立病院 市立病院 出席者9名（小部会メンバー、事例発表予定者）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・協議・確認事項 (1) 当日配付資料の確認及び留意点について (2) 研修当日の準備について ほか
<p>○第8回入退院支援研修企画小部会 平成30年12月19日（水）17：30～19：15 市立病院 市立病院 出席者8名（小部会メンバー）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・協議・確認事項について (1) 第2回研修会の振り返り・評価について (2) 次年度の研修計画について ほか <p>※協議・確認事項を協議し、次年度も関係者の力量アップを図るため、次年度以降も研修会を年2回開催し継続的に取り組むこととなった。</p>
<p>○第1回北空知地域入退院支援研修会 平成30年9月28日（金）18：15～20：00 出席者103名（看護職43名、介護支援専門員33名、MSW・SW・相談員6名、 リハビリ職2名、薬剤師4名、保健師5名、ヘルパー7名、事務職3名）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研修内容

- (1) 地域包括ケア病棟紹介 深川市立病院 3階東病棟 看護課主幹 飯尾千代子さん
- (2) 事例紹介「地域包括ケア病棟から在宅へ～退院支援を振り返る～」
深川市立病院 3階東病棟 看護師 安立綾子さん
- (3) 事例検討 15グループ、1グループ6人前後で検討を実施
・テーマ2点「病院から地域（退院）、地域から病院（入院）時のタイムリーな情報共有について」
「本人・家族の思いに寄り添った在宅生活の移行支援について」
- (4) 全体共有 2点のテーマごとに、2グループからグループワークの検討を発表
事例の退院後の様子を訪問看護ステーションから紹介
- (5) 北空知地域入退院支援・調整ルールの説明 試行事業として8月から開始
※参加者の満足も高く、アンケートには「多職種の意見を交換することができてよかった」「本人と家族の思い、介護力が大切であると学びました」「チームで動くことの大切さを実感しました」などの感想が寄せられていました。

○第2回北空知地域入退院支援研修会

平成30年11月30日（金）18:00～19:50

出席者82名（看護職34名、介護支援専門員28名、MSW・SW・相談員7名、
リハビリ職1名、保健師8名、ヘルパー1名、事務職3名）

・研修内容

- (1) 事例紹介「在宅環境に問題のある方の在宅復帰支援」 安寿ケアセンター 夏井聖典さん
- (2) 事例検討 15グループ、1グループ5名で検討を実施
・テーマ2点「病院から地域（退院）、地域から病院（入院）時のタイムリーな情報共有について」
「本人・家族の思いに寄り添った在宅生活の移行支援について」
- (3) 全体共有 グループワークで検討したことをインタビュー形式で6グループから発表
事例発表者から退院後の支援状況を紹介、事例を担当した病棟看護師、作業療法士から感想等を発言

※2回の研修会で参加者の力量アップ、資質向上につながった。

昨年の入退院支援研修では事例検討を開催する必要性の意識付けがされ、今年度は自分たちで事例検討を進めていく方法・手段を獲得できた。次年度以降は効率化も図りつつ、事例検討を「自分事」として参加できるようなアプローチが必要である。

3. 事業の進捗状況

(1) 切れ目のない在宅医療と介護の提供体制の構築推進

①地域の医療と介護の提供状況について、情報の整理

⇒ 住民に在宅医療と介護について考えてもらうとともに、今後の取り組みの検討資料にするため、在宅医療・介護に関するアンケート調査を8月から11月の期間、関係市町のイベントや事業で実施した。回収件数は目標の1,000件を大幅に上回る1,487件であった。

《アンケート調査結果の概要》

- ・「在宅介護」の認知度は、全体では93.1%と高かったが、具体的な介護制度の仕組みを聞いた介護認定の認知度は4.7ポイント低い88.4%であった。また、「在宅医療」の認知度は、66.8%で、「在宅介護」より26.3ポイント下回った。
- ・「在宅医療」「在宅介護」のイメージを聞いた設問では、サービスの内容が分からないと答える方や、在宅医療・介護に心配や不安を示す回答、イメージできないとの回答が少なくなかった。
- ・病気や要介護になった場合の希望として、70代以上では1位「病院へ入院するか、施設に入りたい」46.1%、2位「在宅医療、在宅介護を使って家で暮らしたい」22.7%、3位「配偶者と家で暮らしたい」16.3%の順であった。
- ・在宅医療、在宅介護を受けるとしたら気になることとして、70代以上では、1位「家族への負担」44.5%、2位「経済的な負担」35.5%、3位「病状が急変したときの対応」27.2%の順であった。

- ・今後、北空知で「在宅医療」や「在宅介護」のため必要と思うこととして、全体では、「容体の急変時の入院が可能な体制」66.2%、「24時間いつでも診てもらえる体制」65.1%、「家族の負担軽減のための介護サービス等の充実」61.3%、「不安を感じた場合に相談できる窓口」53.1%、「定期的に訪問診療・訪問看護が受けられる体制」49.7%、「地域の医療・介護資源をわかりやすく掲載した一覧・地図」42.2%、「地域住民同士の声かけや助け合いができる地域づくり」40.1%、「在宅医療に関する普及啓発」31.8%の順であった。
6割以上の方が「入院可能な体制」「24時間の体制」「介護サービス等の充実」の項目を必要なものとしてあげた。
- ⇒「在宅医療」「在宅介護」の認知度等については、アンケートの対象者がイベントや事業に参加できる方からの回答のため、「知っている方」が多かったと考えられ、地域全体の認知度等としては調査結果よりも低くとらえる必要があり、地域住民への周知、啓発は一層必要と判断される。
- ・また、「在宅医療」「在宅介護」に対する住民の不安や期待に応えるサービスの維持確保や、施策の検討が必要である。特に人口減少・労働力不足が続く中、医療・介護を担う人材の維持・確保が大きな課題である。

②切れ目のない在宅医療と在宅介護が提供される体制の構築のために必要な取組みの実施

- ⇒ 昨年度、Ⅱ部会で検討した「北空知地域入退院支援・調整ルール（試案）」をⅠ部会&Ⅱ部会合同事業調整会議を設け完成させ、関係市町から各居宅介護支援事業所に通知し、8月から試行事業として実施した。また、事業実施要領、様式をホームページに掲載した。
今後、Ⅰ部会で事業の普及促進とルールの見直しを行う。
- ⇒ 北空知地域の医療関係者と地域支援関係者が連携して入退院支援を進めていく関係を築くため、昨年度に続き「北空知地域入退院支援研修会」を9月と11月に2回開催し、関係者の力量アップを図った。
また、9月の研修会で「北空知地域入退院支援・調整ルール」試行事業の実施を説明し普及促進を図った。
- ⇒ 認知症初期集中支援事業の実施体制を各市町で整えるため、10月に開催された認知症サポート医養成研修会に医師2名（妹背牛町・北竜町）を派遣し認知症サポート医を確保した。このことにより認知症サポート医は7名となった。
- ⇒ 昨年度から認知症初期集中支援事業実施要綱を定め、手探りで開始した認知症初期集中支援事業の事例が出て来たので、その成果と課題を確認し、関係市町の初期集中支援チームの力量アップと支援関係者との連携を図るため、事例共有検討会を9月と2月に2回開催した。
- ⇒ 北海道の第7次医療計画の策定に伴い、今年度、保健所で作成する「北海道医療計画北空知地域推進方針」について、関係機関等から意見を聞く場として、Ⅱ部会に協力依頼があり、各委員等で方針のタタキ台「在宅医療の提供体制」に対する意見照会の提出に協力した。
前回の方針策定時は「北空知圏域在宅医療推進ネットワーク協議会」がその役割を担っていたが、本協議会の設置に伴いネットワーク協議会は廃止し、事業は本協議会が継承している。

(2) 医療介護連携支援センターの運営と相談の受付、関係者の連携と調整

①北空知地域医療介護連携支援センターの運営

- ⇒ 市立病院地域連携室内に下記「平成30年度 北空知地域医療介護連携支援センター体制」のとおりに設置し運営にあたった。

②相談業務の充実

- ⇒ 北空知地域入退院支援研修会などを通じて関係者との連携を深め、相談業務の充実に努めた。
また、北空知地域内外の各種研修会や会議に参加し、医療・介護等の関係者との関係づくりとセンター職員の資質向上に努めた。

③北空知地域医療介護連携支援センター業務の周知

- ⇒ ホームページ、パンフレット、北空知地域住民フォーラムなどの研修事業等で周知するとともに、各市町の地域包括支援センター、各事業所等を通じて周知に努めた。
また、ホームページに住民啓発パンフレット「住み慣れたまちで安心して暮らすために」を掲載しダウンロードできるようにした。

④相談窓口担当者の地域ケア会議への出席（関係者間の連携構築）

⇒ 深川市（月2回）、妹背牛町（月1回）、秩父別町（月1回）、沼田町（不定期）の地域ケア会議に出席し、関係市町及び事業所等との連携構築に努めた。

⑤訪問看護等在宅サービスとの連携・調整

⇒ 入退院支援業務を通じて関係者と連携・調整に努めた。

⑥認知症初期集中支援事業の連携・調整

⇒ 関係市町への認知症サポート医及び看護職の派遣・調整を行った。

- ・平成29年度の実施件数5件（深川市4件、北竜町1件）、うち市立病院看護師派遣1件（北竜町）、実施結果：3件～医療受診・介護サービス利用、2件～支援継続
- ・平成30年度の実施件数4件（深川市4件）、実施結果：1件～医療受診・介護サービス利用、3件～支援継続

4. 部会構成員（平成30年4月～平成31年3月）18名

役職	所属団体・役職	氏名	備考
部会長	妹背牛町健康福祉課長	河野 和 浩	2年交代（H30～H31）
副部会長	深川保健所企画総務課企画主幹	齋藤 颯 敏	
委 員	深川医師会副議長	児島 俊 一	児島医院 院長
	北海道薬剤師会北空知支部深川部会	工藤 博 之	なの花薬局
	北空知介護支援専門員連絡協議会	今田 裕 之	居宅介護支援清祥園
	北空知区域内介護事業所	原田 順 子	深川地域訪問看護所長
	北空知区域内介護事業所	山崎 雄 大	居宅りふれ
	深川地区消防組合深川消防署指令救急課救急救助係長	柴田 和 宏	
	深川保健所企画総務課主査	佐藤 一 美	
	秩父別町住民課住民福祉グループ主査	太田 祥 予	
	北竜町地域包括支援センター介護予防係	内田（島影） 奈保子	1月改名
	沼田町保健福祉課福祉グループ主査	渡辺 正 人	10月に交代
	↓	↓	
沼田町保健福祉課福祉グループ保健師	鈴木 悠里江		
深川市健康福祉課障がい福祉係長	村田 真 紀		
深川市高齢者支援課地域包括支援係	鎌塚 聡 子		
事務局員	深川市立病院地域連携室室長	村澤 眞由美	
	深川市立病院地域連携室副室長	坂井 良 江	
	深川市立病院地域連携室地域連携係主任	佐藤 恵 里	
	深川市立病院地域連携室地域連携係調査員	三ツ井 隆 博	

※部会長は4町で2年交代（平成30年度～平成31年度）

【認知症・アンケート小部会】

河野（小部会長）、工藤、柴田、内田、渡辺（→鈴木）、村田、鎌塚、村澤、三ツ井（9名）

【入退院支援研修企画小部会】

齋藤（小部会長）、児島、原田、今田、山崎、佐藤（一）、太田、坂井、佐藤（恵）、三ツ井（10名）

平成30年度 北空知地域医療介護連携支援センター体制

役職	所属団体・役職	氏名	担当
センター長	深川市立病院副院長	新居 利 英	センター業務統括
センター長代理	深川市立病院事務部長	吉田 博 昭	センター長の職務代理
副センター長	深川市立病院地域連携室長	村澤 眞由美	運営会議 退院調整・在宅生活支援部会

事務局長	深川市立病院地域連携室 地域連携係調査員	三ツ井 隆 博	運営会議及び専門部会の運営調整、 地域リハビリテーション活動支援事業等の進行調整
事務局次長	深川市立病院地域連携室 副室長	坂 井 良 江	退院調整・在宅生活支援部会
事務局員	深川市立病院地域連携室 地域連携係長	藤 原 智 美	多職種連携・地域啓発部会 地域リハビリテーション活動支援事業
	深川市立病院地域連携室 地域連携係主査	赤 松 充 敏	多職種連携・地域啓発部会 地域リハビリテーション活動支援事業
	深川市立病院地域連携室 地域連携係主査	尾 中 康 晴	運営会議 医療・介護情報共有支援部会
	深川市立病院地域連携室 地域連携係主任	佐 藤 恵 里	退院調整・在宅生活支援部会

《令和元年度事業計画》

- ・協議会3年間の進捗状況を踏まえ、下記のとおり部会担当事務事業を見直し事業計画を策定します。

○退院調整・在宅生活支援部会の担当（見直し）

（１）切れ目のない在宅医療と介護の提供体制の構築推進

- ①切れ目なく在宅医療と在宅介護を提供するための体制づくりの検討
 - 急変時診療体制の検討
 - 夜間・休日診療体制の検討
 - 在宅での支援体制の検討
 - 認知症施策の検討

（２）医療介護連携支援センターの運営と相談の受付、関係者の連携と調整

- ①「北空知地域医療介護連携支援センター」の設置と運営
- ②相談コーディネーター（看護師、医療ソーシャルワーカー、介護支援専門員など、医療・介護の知識と実務経験を有する人材）の配置
- ③医療・介護関係者、地域包括支援センターからの医療・介護連携に関する相談の受付（地域住民からの相談も直接受け付け、地域包括支援センターと連携調整する。）
- ④退院の際の医療及び介護関係者との連携調整と相互の紹介、他圏域病院との連携調整
- ⑤訪問看護等在宅サービスとの連携・調整
- ⑥認知症初期集中支援事業の連携・調整

1. 令和元年度事業計画

（１）切れ目のない在宅医療と介護の提供体制の構築推進

- ①地域の医療と介護の提供状況について、情報の整理
 - ・在宅医療・介護に関するアンケート調査結果を踏まえた課題整理と施策の検討
- ②切れ目のない在宅医療と在宅介護が提供される体制の構築のために必要な取組みの実施
 - ・医療関係者と地域支援関係者との連携構築を図る北空知地域入退院支援研修会の開催
 - ・認知症初期集中支援事業等の認知症ケアの向上などの認知症施策の検討

（２）医療介護連携支援センターの運営と相談の受付、関係者の連携と調整

- ①北空知地域医療介護連携支援センターの運営と業務の周知
- ②相談コーディネート業務の充実
- ③相談コーディネーターの地域ケア会議への出席（関係者間の連携構築）
- ④訪問看護等在宅サービスとの連携・調整
- ⑤認知症初期集中支援事業の連携・調整

2. 部会構成員（平成31年4月～令和2年3月）20名

役 職	所属団体・役職	氏 名	備 考	
部 会 長	妹背牛町健康福祉課長	河 野 和 浩	2年交代（H30～R元）	
副部会長	深川保健所企画総務課企画主幹	齋 藤 颯 敏		
		↓		
大 場 久 男	深川医師会副議長	児 島 俊 一	児島医院 院長	
		北空知歯科医会副会長	中 神 宏 司	中神歯科医院 院長 増
委 員	北海道薬剤師会北空知支部深川部会	工 藤 博 之	なの花薬局	
	北空知介護支援専門員連絡協議会	今 田 裕 之	居宅介護支援清祥園	
		↓	高 橋 ゆ み	5月交代 永楽園居宅介護支援
	北空知区域内介護事業所	原 田 順 子	深川地域訪看所長	
	北空知区域内介護事業所	山 崎 雄 大	居宅りふれ	
	深川地区消防組合深川消防署指令救急課救急救助係長	柴 田 和 宏		
	深川保健所企画総務課主査	↓	佐 藤 一 美	
			↓	
	深川保健所健康推進課指導主任保健師	栗 林 志 保		
	秩父別町住民課住民福祉グループ主査	太 田 祥 予		
	北竜町地域包括支援センター介護予防係	内 田 奈 保 子		
	沼田町保健福祉課福祉グループ保健師	鈴 木 悠 里 江		
	深川市健康福祉課長補佐・障がい福祉係長	村 田 真 紀		
深川市高齢者支援課地域包括支援係	鎌 塚 聡 子			
事務局員	深川市立病院地域連携室室長	村 澤 眞 由 美		
	深川市立病院地域連携室副室長	坂 井 良 江		
	深川市立病院地域連携室地域連携係主任	佐 藤 恵 里		
	深川市立病院地域連携室地域連携係調査員	三 ッ 井 隆 博		
	深川市高齢者支援課課長補佐	北 垣 千 絵	市町代表事務局員 増	

※部会長は4町で2年交代（平成30年度～令和元年度）

【入退院支援研修企画小部会】

大場（小部会長）、中神、原田、高橋、山崎、栗林、内田、北垣、坂井、佐藤、三ッ井（11名）

【在宅生活支援検討小部会】

河野（小部会長）、児島、工藤、柴田、太田、鈴木、村田、鎌塚、村澤、三ッ井（10名）

平成31年度 北空知地域医療介護連携支援センター体制

役 職	所属団体・役職	氏 名	担 当
センター長	深川市立病院副院長	新 居 利 英	センター業務統括
センター長代理	深川市立病院事務部長	吉 田 博 昭	センター長の職務代理
副センター長	深川市立病院地域連携室長	村 澤 眞 由 美	運営会議 退院調整・在宅生活支援部会
事務局長	深川市立病院地域連携室 地域連携係調査員	三 ッ 井 隆 博	運営会議及び専門部会の運営調整、 地域リハビリテーション活動支援事業等の進行調整
事務局次長	深川市立病院地域連携室副室長	坂 井 良 江	退院調整・在宅生活支援部会
	深川市立病院地域連携室副室長	赤 松 充 敏	多職種連携・地域啓発部会 地域リハビリテーション活動支援事業
事務局員	深川市立病院地域連携室地域連携係長	藤 原 智 美	多職種連携・地域啓発部会

	深川市立病院地域連携室 地域連携係主査	尾 中 康 晴	運営会議 医療・介護情報共有支援部会
	深川市立病院地域連携室 地域連携係主任	佐 藤 恵 里	退院調整・在宅生活支援部会

3. 年間スケジュール

年月日	項 目	内 容
4月16日	正副座長・部会長等会議	役員交代に伴う引き継ぎ及び平成31年度事業計画の協議・調整（事業の実施時期調整）
5月17日	第1回運営会議	部会長→部会の議案説明
6月24日	第1回協議会議	部会長→部会の議案説明

(退院調整・在宅生活支援部会)

年月日	項 目	内 容
5月30日	第1回部会	平成31年度事業計画及び運営体制（小部会）の協議
2月 日	第2回部会	平成31年度事業のまとめと次年度の取組の協議

(入退院支援研修企画小部会)

年月日	項 目	内 容
5月30日	入退院支援研修企画小部会 第1回会議	入退院支援研修会の企画ほか
6月11日	入退院支援研修企画小部会 第2回会議	第1回入退院支援研修会の開催準備協議 （提供事例、開催要項・開催案内ほか）
7月16日	入退院支援研修企画小部会 第3回会議	第1回入退院支援研修会の直前運営協議 （ファシリ選任、グループ分け、進行ほか）
7月22日	第1回入退院支援研修会	
月 日	入退院支援研修企画小部会 第4回会議	第1回研修会の振り返り・評価 第2回入退院支援研修会の開催準備協議 （提供事例、開催要項・開催案内ほか）
月 日	入退院支援研修企画小部会 第5回会議	第2回入退院支援研修会の直前運営協議 （ファシリ選任、グループ分け、進行ほか）
11月中旬	第2回入退院支援研修会	
月 日	入退院支援研修企画小部会 第6回会議	第2回研修会の振り返り・評価 次年度研修の計画

(在宅生活支援検討小部会)

年月日	項 目	内 容
5月30日	在宅生活支援検討小部会 第1回会議	認知症施策ほか在宅生活支援施策の情報・意見交換 第1回事例共有検討会等の開催準備ほか
月 日	第1回認知症対応事例の共有 検討会等の開催	
月 日	在宅生活支援検討小部会 第2回会議	認知症施策ほか在宅生活支援施策の情報・意見交換 第2回事例共有検討会等の開催準備
月 日	第2回認知症対応事例の共有 検討会等の開催	
月 日	在宅生活支援検討小部会 第3回会議	認知症施策ほか在宅生活支援施策の取りまとめ 次年度事業の計画

Ⅲ 多職種連携・地域啓発部会

○多職種連携・地域啓発部会の担当

(1) 医療・介護関係者の研修会の実施

- ①深川保健所による多職種合同研修会の引き継ぎと事業実施
- ②医療・介護関係者を対象とした多職種研修会の実施
 - ・関係団体の研修事業等との連携と活用による研修会の企画立案
 - ・各市町地域ケア会議等の活用による研修会の検討と実施
- ③地域リハビリテーション活動支援事業の活用

(2) 地域住民への普及啓発

- ①在宅医療や介護などについての講演会等の開催
 - ・保健所または各市町での事業等を活用することとし、具体的な実施内容及び役割分担等について検討
 - ・高齢者虐待の未然防止や早期発見への啓発事業の実施検討
- ②在宅医療や介護に関する内容の各市町広報誌やホームページへの掲載依頼

《平成30年度事業報告》

1. 事業計画

(1) 医療・介護関係者の研修会の実施

- ①多職種合同研修会の企画立案と実施
- ②地域内の研修事業の把握による共同開催等の検討
- ③研修会の開催に際してのアンケート実施
- ④地域リハビリテーション活動支援事業の活用
 - ・各市町の事業調査とリハビリテーション専門職の派遣調整

(2) 地域住民への普及啓発

- ①地域住民向けの講演会の企画立案と実施
 - ・在宅医療や介護サービスに関する内容を検討
 - ・高齢者虐待に対する地域住民の理解を深める内容についても検討

2. 関係会議等開催状況

○第1回部会 平成30年7月4日(水) 18:00～20:00 市立病院
出席者15名(部会委員、事務局員)

・協議・確認事項

- (1) 部会の担当及び構成員について
- (2) 平成29年度までの進捗状況の確認について
- (3) 平成30年度の事業計画及び年間スケジュールについて
- (4) 情報交換について

※協議・確認事項を協議し、今年度は「多職種合同研修会企画小部会」と「地域啓発事業担当小部会」を設置し事業に取り組むことになった。また、「地域啓発事業担当小部会」は、地域住民フォーラムの開催地を4町で調整後に開催することになった。

○第2回部会 平成31年2月6日(水) 18:00～19:30 市立病院
出席者13名(部会委員、事務局員)

・協議・確認事項

- (1) 平成30年度事業の振り返り・評価について
 (2) 平成31年度の事業計画及び年間スケジュールについて
 ※協議・確認事項を協議し、次年度も「多職種合同研修企画小部会」「地域啓発事業企画小部会」「地域リハビリテーション活動支援事業調整会議」の3つの小部会と会議を設け、それぞれの事業と課題に取り組むことになった。
 また、多職種合同研修会は年複数回開催すること、北空知地域住民フォーラムは10月中旬に北竜町で開催することに取り組むこととなった。

○第1回多職種合同研修会企画小部会

平成30年8月1日(水) 18:00~19:45 市立病院 出席者6名(小部会メンバー)

・協議・確認事項

- (1) 多職種合同研修会内容について (2) 研修会後の親睦会開催について ほか

※協議・確認事項を協議し、今年度は誰でも気軽に参加できる研修会を目指し、「ケア・カフェ」形式の導入を検討するため、「ケア・カフェの実践と効果について」をテーマに、10月下旬~11月上旬に開催することに取り組むこととなった。

○第2回多職種合同研修会企画小部会

平成30年8月22日(水) 18:00~19:30 市立病院 出席者7名(小部会メンバー)

・協議・確認事項

- (1) 多職種合同研修会の講師及び開催日について
 ・阿部泰之ケア・カフェジャパン代表(旭川医科大学病院医師)、10月31日(水)で決定
 (2) 多職種合同研修会企画案について
 (3) 多職種合同研修会開催準備スケジュールについて
 (4) 開催要項・開催案内・チラシ・ポスター・広報原稿について
 (5) 開催経費について ほか

○第3回多職種合同研修会企画小部会

平成30年10月24日(水) 18:00~19:30 市立病院
 出席者6名(小部会メンバー)

・協議・確認事項

- (1) 多職種合同研修会の参加人数とテーブル席の割り当て、テーブルホスト等について
 (2) 研修会の配布資料・アンケート用紙について
 (3) 研修会当日の役割分担と集合時間等について ほか

○第4回多職種合同研修会企画小部会

平成30年12月10日(水) 18:00~19:45 市立病院
 出席者8名(小部会メンバー)

・協議・確認事項

- (1) 多職種合同研修会の振り返りと評価について
 (2) 次年度の研修計画について ほか
 ※次年度の研修会は、ケア・カフェ方式を導入し複数回開催する方向で計画することを部会に報告し、部会での承認後、研修会運営有志に声をかけて協議することになった。

○第5回多職種合同研修会企画小部会

平成31年3月18日(月) 18:00~19:30 市立病院
 出席者11名(小部会メンバー、運営協力有志)

・協議・確認事項

- (1) 次年度の研修計画について
 ※次年度の多職種合同研修は、北空知地域にあった形でケア・カフェ方式を導入し、運営協力員の参加を得て、年3回開催することに取り組むことになった。

○第1回地域啓発事業担当小部会

平成30年8月27日(月) 18:00~19:20 市立病院 出席者6名(小部会メンバー)

・協議・確認事項

- (1) 地域住民フォーラムの開催地について
 - ・開催地: 妹背牛町、開催日: 10月20日(土)、講師: 杉岡直人北星学園大学教授
- (2) 住民フォーラムについて
 - ①住民フォーラム企画案 ②住民フォーラム開催準備スケジュール
 - ③開催案内・チラシ・ポスター・広報原稿・アンケート ④開催経費
- (3) 次年度以降の開催地について
 - ・開催順は、H31は北竜町、H32は秩父別町、H33は沼田町の順で開催
- (4) 地域住民向け講演会等について ほか

○住民フォーラム開催地打ち合わせ

平成30年10月12日(金) 15:30~16:30 妹背牛町役場

出席者4名(妹背牛町担当課長、小部会長ほか)

- ・開催地と参加者の見込み数を出し、準備物件や会場設営などの役割分担等の打ち合わせを行った。

○第2回地域啓発事業担当小部会

平成30年12月13日(木) 18:00~19:10 市立病院

出席者7名(小部会メンバー)

・協議・確認事項

- (1) 住民フォーラムの振り返りと評価について
- (2) 次年度以降の住民フォーラムの開催計画について
- (3) 地域住民向け講演会等について
 - ・地域リハとして行っている住民向け講話等の開催状況報告
- (4) 部会・担当小部会の構成について
 - ・部会に参画していない管理栄養士などの専門職の補充を検討

○在宅医療・介護を考える北空知地域住民フォーラム in 妹背牛

～いずれはみんなに訪れる人生の最期 どう迎えたいですか? どう送りたいですか?～

平成30年10月20日(土) 13:30~16:00 妹背牛町 わかち愛もせうしひろば

参加者97名(妹背牛町63名、深川市20名、秩父別町2名、北竜町7名、沼田町2名、

その他3名。うち一般63名、支援関係者34名)

- (1) 北空知地域の在宅医療・介護の取組紹介
 - 「自宅で安心して暮らすために～チーム北空知の取組」
紹介者 北空知地域医療介護連携支援センター事務局長 三ツ井隆博さん
 - 「自宅で安心して暮らすために～訪問看護の取組」
紹介者 深川地域訪問看護ステーション所長 原田順子さん
- (2) 講演「地域包括ケアシステムの構築を目指して～ともに暮らしともに支え合う地域づくり～」
講師 北星学園大学社会福祉学部教授 杉岡直人さん
- (3) 意見交換
コーディネーター 妹背牛町健康福祉課長 河野和浩さん

※事前申込された方が少なく心配しましたが、当日は申込者の倍以上の妹背牛町民の方の参加があり、在宅医療や介護、終活に関心があることが分かりました。また、参加者アンケート結果からもフォーラムのテーマや目的である、人生の最期をどう迎えたいか、送りたいかを自分自身の問題として考える機会となったことが伺えます。

- ・杉岡講師も北空知の実態を踏まえて講演をしてくださり、高齢化が進む北空知地域での住民による地域づくりやつながりの大切さが伝わりました。また、副町長の開会挨拶をはじめ、北空知地域の在宅医療・介護の取組の紹介、さらには意見交換まで、テーマや目的に沿った話が展開され、在宅医療・介護を考える大変有意義な場となりました。

○地域包括ケアに携わる多職種合同研修会 兼 北空知介護支援専門員連絡協議会研修会

～「顔の見える関係」から「多職種協働」、そして「チーム北空知」へ～

平成30年10月31日（水）18:00～21:30 プラザホテル板倉

参加者121名（看護職39名、介護支援専門員25名、MSW・SW・相談員9名、薬剤師3名、保健師10名、リハビリ職6名、ヘルパー10名、事務職7名、医師5名、歯科医師2名、管理栄養士1名、精神保健福祉士1名、歯科衛生士1名、その他2名）

(1) 研修会

①講演「顔の見える多職種連携づくり～ケア・カフェの活動と効果～」

・講師：ケア・カフェジャパン代表 阿部泰之さん（旭川医科大学病院緩和ケア診療部副部長）

②グループワーク（情報・意見交換）「ケア・カフェ体験～自分の仕事・あなたの仕事」

・カフェ・マスター 白鳥洋平さん（ケア・カフェ®ジャパン）

(2) 交流会（懇親会）「飲みニケーション交歓～深めよう多職種連携づくり～」

・コーディネーター 北空知介護支援専門員連絡協議会事務局長 佐々木大樹さん

※講演後に行われたケア・カフェ体験のグループワークは、これまでのグループワークとは異なり、参加者は終始賑やかに楽しく会話が弾み、参加者アンケートからも、9割以上の方が満足したと伺える研修となりました。

・参加者からは、「時間があっという間に過ぎました」「楽しいという気持ちになれ、このような取り組みの積み重ねが大切だと思います」「定期的に開催して欲しい」「非常に効果に期待出来る取り組みであると感じました」などの感想等が寄せられていました。

・研修会終了後の交流会にも46名が参加し、インタビュー形式で研修の感想や意見等が交わされ、和やかに多職種連携づくりの交流が深められました。

○第1回地域リハビリテーション活動支援事業調整会議

平成30年8月6日（月）18:00～20:30 市立病院

出席者7名（市町地域包括支援センター担当者、事務局員）

・協議・確認事項

(1) 地域リハビリテーション活動支援事業の成果と課題について

①事業の関係事業所及びスタッフへの浸透 ②成果と課題を5つの事業ごとに検証

③成果と課題を共有する研修の場の企画

※協議・確認事項を協議し、北空知介護支援専門員連絡協議会と共催で、事例共有検討会を設けることとなった。また、深川市で通所事業所を対象にした研修会を検討することになった。

○第2回地域リハビリテーション活動支援事業調整会議

平成31年3月12日（火）17:30～19:00 市立病院

出席者7名（市町地域包括支援センター担当者、事務局員）

・協議・確認事項

(1) 平成30年度事業の効果と課題について

(2) 平成31年度の取り組みについて

※協議・確認事項を協議し、今年度事業の効果と課題を確認、共有し、次年度の個別訪問、通所訪問、地域ケア会議（担当者会議）、地域介護予防（サロンなど住民活動）、研修会の5つの事業で、各市町の状況に応じたリハビリテーション専門職の関与と支援方向を検討した。

また、現担当者以外の市立病院の作業療法士に事業の一部を担当、経験させ、今後事業を担うリハビリテーション専門職の増員と育成を図る取り組みを行うこととした。

○第1回深川市地域リハビリテーション通所事業所スタッフ向け研修会

平成30年11月13日（火）18:30～19:40 深川市健康福祉センター

参加者14名（深川市内通所介護事業所5施設、深川市高齢者支援課の担当者）

・研修内容 通所介護事業所のリハビリテーション視点での介入～運動器疾患（肩痛）の原因とリスク及び運動と生活支援、肩痛に対するストレッチ・肩周囲の強化方法実技

○第2回深川市地域リハビリテーション通所事業所スタッフ向け研修会

平成31年1月29日(火) 18:00~19:50 深川市健康福祉センター

参加者10名(深川市内通所介護事業所5施設、深川市高齢者支援課の担当者)

- ・研修内容 通所介護事業所のリハビリテーション視点での介入~運動器疾患(腰・膝痛)の原因とリスク及び運動と生活支援、転倒原因と予防について

○北竜町社会福祉協議会スタッフ研修会

平成31年2月20日(水) 15:30~16:40 北竜町社会福祉協議会

参加者6名(社会福祉協議会スタッフ、地域包括支援センターの担当者)

- ・研修内容 介護予防のための運動とその効果について、利用者の転倒予防に向けた運動の実技を取り入れながら研修を行った。

○北空知地域リハビリテーション活動支援事業事例共有検討会

兼 北空知介護支援専門員連絡協議会スキルアップ研修会

平成31年2月1日(金) 18:00~19:40 深川市健康福祉センター

参加者29名(北空知介護支援専門員連絡協議会会員、市立病院リハビリ専門職員ほか)

- ・研修内容 地域リハビリテーション3年間の取り組み内容と成果、ケアマネージャーとしての地域リハビリテーション活用方法を学ぶ場として開催した。
また、初めての介護支援専門員とリハビリ専門職の交流を図る場となった。

○住民向け講演会・研修会等の開催

- ・北竜町：和東町老人クラブ 「皆さんで取り組める介護予防」 参加者22名
平成30年4月16日(月) 11:00~11:50 北竜温泉
- ・深川市：豊泉健康サロン 「皆さんで取り組める介護予防」 参加者9名
平成30年4月17日(火) 10:30~11:30 豊泉コミュニティセンター
- ・深川市：介護予防ふれあいサロン普及推進協議会 「サロンにおけるリハビリテーション支援」
参加者20名ほど(各サロン代表者)
平成30年4月26日(木) 14:00~14:40 深川市役所
- ・深川市：内園シルバークラブ 「皆さんで取り組める介護予防」 参加者9名
平成30年5月1日(火) 10:00~11:00 内園コミュニティセンター
- ・沼田町：旭町サロン 「腰痛対策と膝痛対策」 参加者11名
平成30年5月15日(火) 10:45~12:20 旭町コミュニティセンター
- ・沼田町：緑町サロン 「腰痛対策と膝痛対策」 参加者6名
平成30年5月22日(火) 10:50~12:10 緑町コミュニティセンター
- ・深川市：サロン花園 「皆さんで取り組める介護予防」 参加者12名
平成30年7月9日(月) 13:00~15:00 深川市中央公民館
- ・妹背牛町：生活支援ハウスすまい・ル 「簡単に取り組める腰痛緩和と予防」 参加者12名
平成30年7月10日(火) 10:00~11:30 妹背牛町生活支援ハウス
- ・沼田町：旭町サロン 「日常生活で出来る膝痛予防」 参加者13名
平成30年8月21日(火) 10:50~12:10 旭町コミュニティセンター
- ・秩父別町：ちくし元気クラブ・長生会 「生活習慣で認知症を防ぎましょう」 参加者22名
平成30年8月24日(金) 10:00~12:10 秩父別温泉
- ・沼田町：緑町サロン 「日常生活で出来る膝痛予防」 参加者8名
平成30年8月28日(火) 11:00~12:10 緑町コミュニティセンター
- ・沼田町：高齢者元気100倍教室 「日常生活で介護予防」 参加者22名
平成30年9月14日(金) 10:00~11:20 沼田町保健センター
- ・深川市：サロンぽっかぽっか 「体力測定で介護予防」 参加者10名
平成30年10月4日(木) 13:30~14:40 プラザ深川
- ・深川市：開西町お結びサロン 「体力測定で介護予防」 参加者11名
平成30年10月12日(金) 10:00~11:30 JA北空知研修センター

- ・深川市：向陽シルバークラブ 「日常生活で介護予防」 参加者20名
平成30年10月15日（月）10:00～12:30 向陽ほっと館・ふぁーむ
- ・深川市：円サークル 「皆さんで取り組める介護予防」 参加者11名
平成30年10月15日（月）13:30～15:00 屯田会館
- ・深川市：すこやかサロン 「皆さんで取り組める介護予防」 参加者30名
平成30年10月29日（月）10:00～11:20 三和コミュニティセンター
- ・深川市：あさひ区ふれあいサロン 「体力測定で介護予防」 参加者21名
平成30年11月17日（土）10:00～12:00 デイサービス福寿草
- ・深川市：豊泉健康サロン 「体力測定で介護予防」 参加者11名
平成30年11月20日（火）10:00～11:30 豊泉コミュニティセンター
- ・沼田町：旭町サロン 「サロン活動は介護予防に効果がある」 参加者16名
平成30年11月20日（火）13:00～14:10 旭町コミュニティセンター
- ・沼田町：緑町サロン 「サロン活動は介護予防に効果がある」 参加者7名
平成30年11月27日（火）11:00～12:10 緑町コミュニティセンター
- ・妹背牛町：生活支援ハウスすまい・ル 「転倒予防！転ばない方法」 参加者 名
平成31年1月15日（火）10:00～11:30 妹背牛町生活支援ハウス
- ・深川市：宇摩シルバークラブ 「体力測定で介護予防」 参加者10名
平成31年2月6日（水）9:30～11:30 多度志宇摩会館
- ・沼田町：旭町サロン 「皆さんで取り組める介護予防」 参加者14名
平成31年2月19日（火）13:00～14:10 旭町コミュニティセンター
- ・深川市：南水源町内会婦人部 「皆さんで取り組める介護予防」 参加者9名
平成31年2月26日（火）10:00～11:30 南水源会館
- ・沼田町：緑町サロン 「皆さんで取り組める介護予防」 参加者6名
平成31年2月26日（火）13:00～14:10 緑町コミュニティセンター
- ・北竜町町：碧水地域支え合いセンター 「健康に過ごすための身体づくり」 参加者19名
平成31年3月4日（月）10:00～11:00 碧水地域支え合いセンター
- ・深川市：揺籃会介護者教室 「健康に過ごすための身体づくり・自宅で出来る体操」 参加者26名
平成31年3月5日（火）13:00～15:15 納内コミュニティセンター
- ・深川市：一己シルバークラブ 「自宅で取り組める腰痛予防」 参加者17名
平成31年3月7日（木）10:40～11:50 深川老人いこいの家
- ・妹背牛町：いきいき百歳体操サポーター養成講座「介護予防と運動の効果、運動の基礎知識」 参加者33名
平成31年3月20日（水）10:00～12:00 わかち愛もせうしひろば
- ・深川市：更進サロン芝さくら 「体力測定で介護予防」 参加者14名
平成31年3月20日（水）13:30～15:00 吉住公民館
- ・深川市：幌成シルバークラブ 「体力測定で介護予防」 参加者11名
平成31年3月22日（金）10:00～11:45 幌成コミュニティセンター
- ・深川市：納内ふれあいサロン 「体力測定で介護予防」 参加者26名
平成31年3月26日（金）10:00～11:00 納内コミュニティセンター

3. 事業の進捗状況

(1) 医療・介護関係者の研修会の実施

①多職種合同研修会の企画立案と実施

- ⇒ 患者や利用者、地域住民の支援に携わる関係職員が一堂に会し、お互いの役割を確認・共有し、切れ目のない支援・サービスが提供される多職種連携の関係づくりを構築するため、10月31日（水）に121名の参加を得て「地域包括ケアに携わる多職種合同研修会」を開催した。
- ・顔の見える関係づくりを図る機会を増やすため、これまでの年1回の研修会から複数回開催する方向で検討する。

②地域内の研修事業の把握による共同開催等の検討

- ⇒ 昨年に続き、多職種合同研修会を北空知介護支援専門連絡協議会との共催で開催したほか、地域

リハ活動支援事業事例共有検討会を北空知介護支援専門連絡協議会のスキルアップ研修として開催した。

- ⇒ 地域内全体の研修事業の把握までには至らなかったが、深川医師会の研修会、北竜町の地域医療を考える講演会、妹背牛町の介護劇公演などを適宜、関係機関・団体に案内した。
- ⇒ 外部の参加も可能な研修事業については、ホームページ又は各会議体委員等へのメール・FAXでお知らせするよう努めていく。

③研修会の開催に際してのアンケート実施

- ⇒ 10月開催の多職種合同研修会及びII部会担当の北空知地域入退院支援研修会（2回開催）で、参加者アンケートを実施し、次年度の研修企画に活かすこととしている。
特に、多職種合同研修会については、これまでのアンケートなどの意見等を踏まえ、顔の見える関係づくりを図る機会を増やすため、年複数回開催する方向で検討する。

④地域リハビリテーション活動支援事業の活用（普及推進）

- ・各市町の事業調査とリハビリテーション専門職の派遣調整
- ⇒ 地域リハビリテーション活動支援事業調整会議を開催し、事業2年間の成果と課題をまとめ、関係市町の地域ケア会議や事業所の研修などで報告し事業の一層の普及推進を行った。
- ⇒ 深川市で通所介護事業所向けの地域リハビリテーション研修会を2回開催するとともに、北空知介護支援専門員連絡協議会との共催で、地域リハビリテーションの活用方法を学ぶスキルアップ研修会を開催した。
- ⇒ 北海道の「地域リハビリテーション指導者養成研修」に、市立病院のリハビリテーション専門職が参加し、地域ケア会議や介護予防事業に資するアドバイザーとしての指導力向上に努めた。

(2) 地域住民への普及啓発

①地域住民向けの講演会の企画立案と実施

- ・在宅医療や介護サービスに関する内容を検討
- ・高齢者虐待に対する地域住民の理解を深める内容についても検討
- ⇒ 北空知地域住民フォーラムは、10月20日（土）に妹背牛町で97名の参加者を得て開催した。今年度も「いずれはみんなに訪れる人生の最期 どう迎えたいですか？ どう送りたいですか？」をテーマに、在宅医療や介護サービスに関する取り組みを紹介した。
- ⇒ 住民啓発パンフレット「住み慣れたまちで安心して暮らすために」を1,000部増刷し、地域住民フォーラムで配付するとともに、住民啓発資料として関係市町及び市立病院に配分した。
- ⇒ 北空知地域住民フォーラムの開催地は、2019年度は北竜町、2020年度は秩父別町、2021年度は沼田町の順で開催することとする。
- ⇒ 地域住民向け講演会等（出前講座）のメニューは、地域リハビリテーション活動と訪問看護の2件を用意し、さらに増やすことを検討しましたが「メニュー」として具体化には至りませんでした。今後、他のメニューは要請に基づいて調整する。
- ⇒ 地域リハビリテーション活動の出前講座は、上記「住民向け講演会・研修会等の開催」のとおり、33カ所で実施した。
- ⇒ 高齢者虐待については、事務局で北海道の研修会に参加したが、住民啓発の機会を設けるまでには至らなかった。

4. 部会構成員（平成30年4月～平成31年3月）15名

役 職	所属団体・役職	氏 名	備 考
部 会 長	北竜町地域包括支援センター主幹兼保健指導係長	神 薺 早 智	2年交代（H30～H31）
副 部 会 長	北空知介護支援専門員連絡協議会	桑 原 薫	幸鐘会
委 員	深川医師会理事	代 田 剛 ↓ 大谷内 真 弓	7月に交代
	北空知歯科医会会長	伊 東 由紀夫	伊東歯科医院院長

	北海道薬剤師会北空知支部深川部会	中澤 肇子	深川市立病院薬剤課
	北空知区域内介護事業所	及川 雅裕	GH碧水 管理者
	深川市介護者と共に歩む会会長	北本 清美	
	深川保健所企画総務課主査	佐藤 一美	
	妹背牛町健康福祉課主査	野本 里恵	
	秩父別町住民課保健師	池田 有里恵	
	沼田町地域包括支援センター(介護支援専門員)	碓 宏一	
	深川市高齢者支援課地域包括支援係長	佐々 まゆみ	
事務局員	深川市立病院地域連携室地域連携係係長	藤原 智美	
	深川市立病院地域連携室地域連携係主査	赤松 充敏	
	深川市立病院地域連携室地域連携係調査員	三ツ井 隆博	

※部会長は4町で2年交代(平成30年度～平成31年度)

【多職種合同研修会企画小部会】

桑原(小部会長)、大谷内、及川、佐藤、碓、佐々、藤原、三ツ井 (8名)

【地域啓発事業担当小部会】

神薮(小部会長)、伊東、中澤、北本、野本、池田、三ツ井 (7名)

【地域リハビリテーション活動支援事業調整会議】

三ツ井(座長)、赤松、小鍛冶(深川市)、野本(妹背牛町)、太田(秩父別町)、
内田(北竜町)、碓(沼田町) (7名)

《令和元年度事業計画》

- ・協議会3年間の進捗状況を踏まえ、下記のとおり部会担当事務事業を見直し事業計画を策定します。

○多職種連携・地域啓発部会の担当(見直し)

(1) 医療・介護関係者の研修会の実施

- ①医療・介護関係者を対象とした多職種研修会の実施
 - ・多職種合同研修会の開催
 - ・関係団体の研修事業等との連携と活用による研修会の企画立案
 - ・各市町地域ケア会議等の活用による研修会の検討と実施
- ②地域リハビリテーション活動支援事業の普及推進

(2) 地域住民への普及啓発

- ①在宅医療や介護などについての講演会等の開催
 - ・在宅医療・介護に関する住民フォーラムの開催
 - ・専門職等の派遣による住民向け講演会・研修会等の実施
- ②在宅医療や介護に関する住民広報の実施
 - ・関係市町・事業所等との連携による住民広報の検討と実施
 - ・在宅医療・介護に関して高齢者虐待など必要な課題を取り上げた普及啓発の検討と実施

1. 令和元年度事業計画

(1) 医療・介護関係者の研修会の実施

- ①医療・介護関係者を対象とした多職種研修会の実施
 - ・多職種合同研修会の複数回開催の企画と運営
 - ・地域内の研修事業の把握による参加案内の周知や共同開催等の検討

- ・協議会構成団体相互の専門職等の派遣協力による研修事業の検討
- ②地域リハビリテーション活動支援事業の普及推進
- ・各市町の事業調査とリハビリテーション専門職の派遣調整
- ・事業者向け研修会等の実施による普及推進

(2) 地域住民への普及啓発

- ①在宅医療や介護などについての講演会等の開催
 - ・在宅医療・介護に関する住民フォーラムの開催
 - ・専門職等の派遣による住民向け講演会・研修会等の実施
- ②在宅医療や介護に関する住民広報の実施
 - ・関係市町・事業所等との連携による住民広報の検討と実施
 - ・在宅医療・介護に関して高齢者虐待など必要な課題を取り上げた普及啓発の検討と実施

2. 部会構成員（平成31年4月～令和2年3月） 17名

役 職	所属団体・役職	氏 名	備 考
部 会 長	北竜町地域包括支援センター次長・保健指導係長	神 薺 早 智	2年交代 (H30～R 元)
副部会長	北空知介護支援専門員連絡協議会	桑 原 薫	幸鐘会
委 員	深川医師会理事	大谷内 真 弓	深川市立病院診療部
	北空知歯科医会会長	伊 東 由紀夫	伊東歯科医院院長
	北海道薬剤師会北空知支部深川部会	中 澤 肇 子	深川市立病院薬剤課
	北空知栄養士会会長	岡 本 恵	増
	北空知区域内介護事業所	及 川 雅 裕	GH碧水 管理者
	深川市介護者と共に歩む会会長	北 本 清 美	
	深川保健所企画総務課主査	佐 藤 一 美 ↓ 山 崎 由紀子	
	妹背牛町健康福祉課主査	野 本 里 恵	
	秩父別町住民課保健師	池 田 有里恵	
	沼田町地域包括支援センター(介護支援専門員)	碓 宏 一	
	深川市高齢者支援課地域包括支援係長	佐 々 まゆみ	
事務局員	深川市立病院地域連携室地域連携係係長	藤 原 智 美	
	深川市立病院地域連携室地域連携室副室長	赤 松 充 敏	
	深川市立病院地域連携室地域連携係調査員	三ツ井 隆 博	
	沼田町保健福祉課主幹	按 田 義 輝	市町代表事務局員 増

※部会長は4町で2年交代（平成30年度～令和元年度）

【多職種合同研修企画小部会】

桑原（小部会長）、大谷内、中澤、碓、岡本、山崎、藤原、按田、三ツ井
運営協力員：疋田健（東ヶ丘病院看護師）、坂本一樹（市立病院看護師）、
永洞政幸（市立病院作業療法士） (12名)

【地域啓発事業企画小部会】

神薺（小部会長）、伊東、北本、及川、野本、池田、佐々、赤松、三ツ井 (8名)

【地域リハビリテーション活動支援事業調整会議】

三ツ井（座長）、赤松（事業担当）、小鍛冶（深川市）、野本（妹背牛町）、太田（秩父別町）、
内田（北竜町）、碓（沼田町） (7名)

3. 次年度の年間スケジュール

年月日	項目	内容
4月16日	正副座長・部会長等会議	役員交代に伴う引き継ぎ及び平成31年度事業計画の協議・調整（事業の実施時期調整）
5月17日	第1回運営会議	部会長→部会の議案説明
6月24日	第1回協議会議	部会長→部会の議案説明

（多職種連携・地域啓発部会）

年月日	項目	内容
4月24日	第1回部会	平成31年度事業計画及び運営体制（小部会）の協議
2月 日	第2回部会	平成31年度事業のまとめと次年度の取組の協議

（多職種合同研修企画小部会）

年月日	項目	内容
4月24日	多職種合同研修企画小部会第1回会議	多職種合同研修会の企画ほか
5月13日	多職種合同研修企画小部会第2回会議	第1回多職種合同研修会の開催準備協議
6月14日	第1回多職種合同研修会	テーマ「運動（リハビリ）」
月 日	多職種合同研修企画小部会第3回会議	第2回多職種合同研修会の開催準備協議
9月中旬	第2回多職種合同研修会	テーマ「お口の話（口腔ケア）」
月 日	多職種合同研修企画小部会第4回会議	第3回多職種合同研修会の開催準備協議
1月下旬	第3回多職種合同研修会	テーマ「食事（栄養）」
1月末まで終了	多職種合同研修企画小部会第5回会議	事業のまとめと次年度事業の取組の協議

（地域啓発事業企画小部会）

年月日	項目	内容
4月24日	地域啓発事業企画小部会第1回会議	地域啓発事業の企画協議ほか
6月21日	地域啓発事業企画小部会第2回会議	住民向け講演会・研修会等の協議ほか 地域リハビリテーション活動支援事業調整 会議と合同開催
8月19日	地域啓発事業企画小部会第3回会議	地域住民フォーラムの開催準備協議 9月上旬に開催案内（市町広報8月末原稿 提出、10月号掲載）
10月27日	北空知地域住民フォーラム	北竜町で開催
12月まで終了	地域啓発事業企画小部会第4回会議	小部会事業のまとめと次年度事業の取組の 協議

（地域リハビリテーション活動支援事業調整会議）

年月日	項目	内容
6月21日	第1回地域リハビリテーション活動支 援事業調整会議	平成30年度事業の報告と平成31年度事 業の調整協議 地域啓発事業企画小部会と合同開催
2月 日	第2回地域リハビリテーション活動支 援事業調整会議	平成31年度事業のまとめと次年度事業の 取組の協議

平成30年度 北空知地域医療介護連携支援センター事業(地域医療・介護連携推進事業)決算

収入

項目	予算額	決算額	増減額	積算等内訳
委託料	10,944,720	10,944,720	0	各市町負担金 深川市 4,798,032円 妹背牛町 1,624,320円 秩父別町 1,488,607円 北竜町 1,410,289円 沼田町 1,623,472円 計 10,944,720円
合計	10,944,720	10,944,720	0	

支出

項目	予算額	決算額	増減額	積算等内訳
人件費	8,250,000	8,250,000	0	北空知地域医療介護連携支援センター業務に係る人件費 7,500,000円(市立病院正規看護職員平均給与費)×1.1=8,250,000円
連絡車両維持費	342,000	342,000	0	年間車両レンタル料等 682,055円/台×0.5(車両利用割合)÷342,000円
事業費	600,000	598,754	△ 1,246	北空知地域医療介護確保推進協議会 多職種合同研修会催経費 86,322円 運営会議 住民フォーラム開催経費 90,320円 I 医療・介護情報共有支援部会 その他研修会等開催経費 56,651円 II 退院調整・在宅生活支援部会 ホームページ更新・管理 253,800円 III 多職種連携・地域啓発部会 住民啓発パンフ作成費 44,421円 研修旅費及び受講料等 67,240円 多職種合同研修会の開催経費について、北空知介護支援専門員連絡協議会から50,000円の共催負担金あり
事務費	459,600	441,602	△ 17,998	事務費 441,602円 消耗品・消耗備品 98,927円 介護新聞購読料 16,200円 郵送料 7,384円 コピー機賃借及び使用料 319,091円 ※事務室及びパソコン等備品等使用料は含んでいません。
一般管理費	482,400	501,644	19,244	(人件費+連絡車両維持費+事業費+事務費) 9,632,356円×10%=963,236円 > 501,644円【5.208%】 当初予算5% (参考:総務省が示す一般管理費上限額は10%)
消費税	810,720	810,720	0	消費税(8%) 10,134,000円×8%=810,720円
合計	10,944,720	10,944,720	0	

平成30年度 地域リハビリテーション活動支援事業 決算

収入

項目	予算額	決算額	増減額	積算等内訳
委託料	9,326,880	9,326,880	0	各市町負担金 深川市 5,308,115円 妹背牛町 1,120,345円 秩父別町 941,267円 北竜町 837,927円 沼田町 1,119,226円 計 9,326,880円
雑収入	0	500	500	ライスパワー体操DVD個人販売収入(100円×5人)
合計	9,326,880	9,327,380	500	

支出

項目	予算額	決算額	増減額	積算等内訳
人件費	7,450,800	7,450,800	0	北空知地域リハビリテーション活動支援事業に係る人件費 7,474,995円(作業療法士給与費実費額)×1人区=7,474,995円
連絡車両維持費	382,800	382,800	0	イグニス @31,900円×12ヶ月=382,800円
事務費	391,400	286,797	△ 104,603	事務費計 286,797円 研修旅費及び受講料 4,460円 消耗品 インク、自助具他 127,256円 燃料費 ガソリン代 37,487円 印刷製本費 DVD作成費 37,800円 通信運搬費 郵便料 23,240円 保険料 任意保険料 25,930円 連絡車両レンタル消費税 30,624円 ※事務室等使用料は含んでいません。
一般管理費	411,000	516,066	105,066	(人件費+連絡車両維持費+事務費) 8,120,397円×10%=812,039円 > 516,066円【6.355%】 当初予算5% (参考:総務省が示す一般管理費上限額は10%)
消費税	690,880	690,917	37	消費税(8%) 8,636,463円×8%=690,917円
合計	9,326,880	9,327,380	500	

令和元年度 北空知地域医療介護連携支援センター事業(地域医療・介護連携推進事業) 予算(案)

収入

項目	前年度予算額	予算額	増減額	積算等内訳
委託料	10,944,720	10,885,830	△ 58,890	各市町負担金 深川市 4,751,807円 妹背牛町 1,624,858円 秩父別町 1,487,480円 北竜町 1,400,465円 沼田町 1,621,220円 計 10,885,830円
合計	10,944,720	10,885,830	△ 58,890	

支出

項目	前年度予算額	予算額	増減額	積算等内訳
人件費	8,250,000	8,276,000	26,000	北空知地域医療介護連携支援センター業務に係る人件費 7,524,000円(市立病院正規看護職員平均給与費)×1.1≒8,276,000円
連絡車両維持費	342,000	175,000	△ 167,000	年間車両レンタル料 523,200円/台×1/3(車両利用割合)≒175,000円(ウイッシュ) ※連絡車両燃料費・保険料は事務費に計上替え
事業費	600,000	600,000	0	北空知地域医療介護確保推進協議会 協議会各会議体の開催経費 運営会議 講演会・研修会等の講師謝礼・会場使用料・資料作成費など I 医療・介護情報共有支援部会 パンフレット作成経費 II 退院調整・在宅生活支援部会 ホームページ作成・更新・管理経費など III 多職種連携・地域啓発部会 ※1専門部会あたり200,000円を基本とし、配分調整する。
事務費	459,600	460,000	400	事務費(固定)460,000円 旅費・参考図書・消耗品費・燃料費・光熱水費・印刷製本費・通信運搬費・使用料及び賃借料・負担金など
一般管理費	482,400	476,000	△ 6,400	当初予算(人件費+連絡車両維持費+事業費+事務費)9,551,000円×5%≒476,000 (参考:総務省が示す一般管理費上限額は10%)
消費税	810,720	898,830	88,110	消費税(8%) 9,987,000円×8%×1/2=399,480円 消費税(10%) 9,987,000円×10%×1/2=499,350円
合計	10,944,720	10,885,830	△ 58,890	

令和元年度 地域リハビリテーション活動支援事業 予算(案)

収入

項目	前年度予算額	予算額	増減額	積算等内訳
委託料	9,326,880	9,429,590	102,710	各市町負担金 深川市 5,356,769円 妹背牛町 1,141,356円 秩父別町 956,159円 北竜町 838,853円 沼田町 1,136,453円 計 9,429,590円
合計	9,326,880	9,429,590	102,710	

支出

項目	前年度予算額	予算額	増減額	積算等内訳
人件費	7,450,800	7,471,000	20,200	北空知地域リハビリテーション活動支援事業に係る人件費 9,339,000円(作業療法士給与費実費額)×0.8人区≒7,471,000円
連絡車両維持費	382,800	418,000	35,200	年間車両レンタル料 418,000円(イグニス)
事務費	391,400	350,000	△ 41,400	事務費(定額)350,000円 旅費・参考図書・消耗品費・燃料費・光熱水費・印刷製本費・通信運搬費・使用料及び賃借料・負担金など
一般管理費	411,000	412,000	1,000	当初予算(人件費+連絡車両維持費+事務費)8,239,000円×5%≒412,000円 (参考:総務省が示す一般管理費上限額は10%)
消費税	690,880	778,590	87,710	消費税(8%) 8,651,000円×8%×1/2=346,040円 消費税(10%) 8,651,000円×10%×1/2=432,550円
合計	9,326,880	9,429,590	102,710	